

## 会 議 議 事 録

1	会議名	令和3年度長岡市自殺対策協議会
2	開催日時	令和4年2月7日（月曜日） 午後2時から午後3時10分まで
3	開催場所	長岡市立劇場 小ホール（オンライン開催）
4	出席者名	<p>（委員） 田中会長 砂山副会長 土田委員 高橋委員 高坂委員  鈴木委員 佐藤委員 田中委員 大川委員 八子委員  澁谷委員 関谷委員 （代理）瀬高委員 高橋委員</p> <p>（関係課） 地域振興戦略部 桜井補佐 市民窓口サービス課 深澤課長  人権・男女共同参画課 穂刈課長 市民協働課 勝沼補佐  福祉総務課 吉田課長 福祉課 高橋補佐  生活支援課 渡辺課長 長寿はつらつ課 五十嵐課長  産業立地課 長谷川補佐 学校教育課 中山課長  消防本部警防課 山田課長</p> <p>（事務局） 福祉保健部 近藤部長 健康課 西山課長  健康課地域健康づくり班 食と健康担当 小林係長  北西地域担当 西脇係長 南地域担当 井口係長  栃尾地域担当 柳橋係長 こころの健康づくり担当 恩田係長  横山主査 大関保健師 石田保健師</p>
5	欠席者名	（委員） 笠井委員 米山委員 （関係課） 子ども・子育て課 田中課長
6	議題	<p>(1)長岡市の自殺の現状について</p> <p>(2)長岡市自殺対策計画の進捗状況について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 長岡市自殺対策計画 進捗状況の報告</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 令和3年度 各団体・関係機関の取組状況報告</p> <p>(3)意見交換</p>
7	審議結果の概要	<p>(1)(2)について報告</p> <p>(3)今後の取組の方向性について意見交換</p>

8 審議の内容	
発言者	議事内容
事務局	○配布資料の確認・オンライン入室確認
会長	<p>○会長あいさつ</p> <p>長岡市医師会の〇〇です。本日はよろしくお願ひいたします。</p> <p>新型コロナウイルス大流行中で、皆様の職域でも大変対策・対応で忙しくされていることと思います。</p> <p>先ほど携帯電話で調べたところ、新型コロナでお亡くなりになった方は、2020年の5月から総計で2万人に近づいてきており、非常に多くなってきました。またそれと同時に、令和3年度の自殺者数は2万人で、年間2万人が自殺で亡くなっています。ペースで考えると、コロナで亡くなる方よりも、自殺で亡くなる方のほうがペースが速い。非常にこれは恐ろしいことだと思っています。</p> <p>さらに今回の新型コロナウイルス感染症で経済的社会的にダメージを受けた方が多数おり、自殺で亡くなる方が今後さらに増えてくるのではないかと専門家が指摘しています。もちろんこの感染症が落ち着いていくことが今後非常に大事になってくるかと思いますが、このような会議を通じて、全国で自殺される方、各市町村で1人でも2人でも減らして欲しい。全国で考えると総計3000人、4000人、あるいはそれ以上</p> <p>自殺で亡くなる方が減ってくる計算になります。今回この会議を通じてそのような方が少しでも減るように、特に長岡市で1人でも2人でも、将来亡くなる方が減っていくことが期待されています。</p> <p>○副会長選出</p> <p>設置要領第5条により、会長の補佐や会長に事故がある時の職務代行のため副会長を置くことになっておりますので、県弁護士会の砂山委員にお願いしたいと思ひますが、皆様ご了解のほうよろしいでしょうか。(参加者全員から同意あり、砂山委員が副会長に就任)</p> <p>○委員自己紹介</p> <p>設置要領第4条により、本年度は2年間の委員の就任任期の1年目、初顔合わせですので自己紹介をしたいのですが、時間が限られておりますので出席者名簿及びモニターでご確認ください。</p> <p>○議題</p> <p>(1) 長岡市の自殺の現状について</p>
健康課長	(資料 No. 1により説明)

健康課長	<p>(2)長岡市自殺対策計画の進捗状況について ア 長岡市自殺対策計画 進捗状況の報告</p> <p>(資料 No. 2冊子報告書により説明)</p>
健康課長	<p>イ 令和3年度 各団体・関係機関の取組状況報告</p> <p>・健康課の取組状況報告 (資料 No. 3により説明)</p>
会長	<p>・各団体・関係機関の取組状況報告</p> <p>令和3年度の各団体、関係機関の取り組み状況については、資料4をご確認ください。補足で説明がある委員がいらっしゃるようでしたら、挙手でお知らせください。</p>
会長	<p>長岡市医師会は空白ですけれども、補足で説明させていただきます。医師会のほうでは、各種取り組みを行っていますが、一番大きな取り組みとしては地域包括ケアを推進することで、精神障害者にも対応していくというところになります。</p> <p>あと、有職者の方、仕事をされてる方に関しては、産業医活動を通じて、ストレスチェックなどで早期発見に努めていくことと、精神科医療との連携を強めていくこと、また自殺対策についての講演会も各種企画して実施しているところです。</p>
委員	<p>臨床心理士会の〇〇です。普段の仕事から自殺に関しては関わらせていただいておりますので、特別なことをするというのではなくて、これまでと同じように取り組んでいくということでご理解ください。</p>
委員	<p>資料4の新潟県弁護士会の項目ですが、少し意味を取り違えて全体に対しての提言としてしまったのですが、弁護士活動について補足させていただきます。</p> <p>先ほど〇〇委員がおっしゃられたように、弁護士が各事案を具体的に取ることで、自殺原因を取り除くところに寄与しておりますが、弁護士会としては全体的に自殺対策に取り組んでおりまして、各種勉強会・講演会に弁護士会として行っております。最近ですと、LGBTの方の法律相談だったり、生きづらさを抱えてる方の個別的なものを絞った法律相談も実施しております。</p> <p>地域の弁護士が各自自治体の自殺対策の会議に参加して、根を張って弁護士会として取り組んでいると考えております。</p>

<p>会長</p>	<p>(3) 意見交換</p> <p>事前に複数の委員から質問がありましたので、そちらから始めます。</p> <p>初めに、令和3年度は女性の自殺者が増加していることについて、質問がありました。分析などで傾向が判明しているようであればという質問について、健康課からご説明をお願いしたいと思います。</p> <p>次に、生活困窮者の相談が増加していることについて、自殺予防の観点から生活困窮者対策について、また市の課題対応策について、お答えがあるようでしたらお願いしたいと思います。</p>
<p>健康課長</p>	<p>長岡商工会議所、長岡地域振興局健康福祉環境部、中越地域いのちとこころの支援センターからご質問がございました。令和3年の女性自殺者数の激増について、30代、40代、高齢者の女性が特に多い中で、分析傾向など判明したものがあればというご質問でしたのでお答え申し上げます。</p> <p>長岡市の令和3年11月末までの女性自殺者数は32人でございます。先ほど申し上げましたが前年の19人から増えており、増減率は68%増という深刻な状況でございます。</p> <p>統計法上の秘匿もございまして、個人個人の正確な情報は申し上げられませんが、健康課で把握できた範囲でお伝えします。まず特徴ですが、同居人ありの方が多く、職業別では被雇用・勤め人の方より無職の方が多いです。無職者のうち、年金雇用保険等の生活者が半数程度を占めております。</p> <p>65歳以上の高齢者については、病気の悩みがある方が非常に多く、慢性的な痛みがある方が6割ほどいらっしゃいました。また、うつ病の方も非常に多い状況となっております。そのような肉体的な痛み、精神的なうつ状態、家族の死亡など、生きることの阻害要因が大きくなったのではないかと推測をしております。</p> <p>30～40代の方につきましては、同居人ありの方が大半で、無職者の方が多いです。家族関係や経済問題により、家族の将来を悲観した可能性や、病気の悩みなど複合的に絡まり、非常に問題を抱えていたのではないかと推測しております。</p> <p>無職者が多いということから、経済的基盤が弱くて、家族関係の不和、病気などの要因、それに生活苦、生きづらさを抱えたもともと弱い立場の女性たちが、コロナ禍の環境の変化でさらに追い詰められたのではと推測をしているところです。</p> <p>自殺の原因・動機につきましては、相談専門機関のいのちとこころの支援センター、警察署の委員の皆様からもわかる範囲で情報をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>私は専門が精神科ですけれども、慢性の痛みは抑うつを惹起して、うつ病になりやすかったりする方も多いと思いますし、逆にうつ病になると、痛み非常に敏感になってしまって、慢性の痛みを訴えてなかなかよくなる。それでよくなるから将来を悲観する。そういったこともあると思って聞いていました。</p>

委員	<p>普段、女性の自殺の原因・動機について、現場で見ているかと思えますけれど、長岡警察署の方から何かご意見があるようでしたら、教えていただきたいと思えます。</p> <p>長岡警察署生活安全課の〇〇といます。</p> <p>自殺関係は110番、本人からの通報が警察ではほとんどで、救急隊と合わせて要請する方が多いです。特徴としてはリストカッターみたいな方が多いですし、そのような方は比較的リピーターになりやすく、何度も繰り返して、誰かに構って欲しいという方も多いです。実際に亡くなられた方もいらっしゃることはいらっしゃいます。昨年は、幅広い年代の方が亡くなられているという認識でおります。</p> <p>何とか未然防止するため、通報がありましたら必ず現場に行きまして、行為者または家族と接触して、事件性の有無、また再発防止に向けた指導などを行いますが、なかなか家族の方も難儀している、本人も悩んでいる状況が見受けられ、受診・通院に向けたアドバイスをしているところです。</p>
会長	<p>重ねて質問ですが、例えば現場で再発予防の指導されたとのことですが、相談窓口を案内するとかそのようなことでしょうか。</p>
委員	<p>そうですね。本人だけの説得で済む場合もありますし、どうしても統合失調症ないしの病気があるケースもありますので、専門機関、保健所、病院や病院の担当医師などに引き継ぐような形、もしくは相談するように助言をしているところであります。</p>
会長	<p>それでは生活困窮対策についてですけれども、長岡市社会福祉協議会の方から何か情報があるようでしたら教えていただければと思えます。</p>
委員	<p>長岡市社会福祉協議会の〇〇です。</p> <p>資料4にもありますが、新型コロナの影響を受けて失業ですとか、休業で収入の減少がある家庭・世帯に資金を貸し付けするものが2種類ございます。ここに示しました件数は、令和2年3月25日からの累計でございます。単年度の数ではありません。相談件数が6532件、申請件数が1963件で、2年間約2年弱の合計ですけれども、6億3382万2000円ということで、非常に高額となっております。</p> <p>現在制度は、まだ現在も更新中でございます。これらの影響がまだまだ続くということで、今後も制度が続く可能性は大きいと思えます。</p>
会長	<p>続きまして、生活支援課から補足説明があるようでしたらお願いします。</p>
生活支援課長	<p>近年は、長引くコロナ禍の影響により、収入が減少している世帯からの相談が増加しております。</p>

<p>会長</p>	<p>市では、生活困窮者の相談窓口として、福祉窓口において生活保護の相談、長岡パーソナル・サポート・センターにおいては、生活に困りごとや不安を抱えている人の様々な相談対応や、各種支援制度を実施しています。</p> <p>生活困窮者からの相談は、多様で複合的な課題を有している相談事例も多く、自殺に至るリスクのある方が非常に見えにくいのが現状であり、この点が大きな課題であります。</p> <p>自殺予防の観点から、自殺につながるような相談者を見逃さず、複合的な課題を有している方については、関係機関と連携して対応するとともに、できるだけ早期に相談していただけるよう、生活困窮者の相談窓口の周知について今後も努めてまいりたいと考えております。</p> <p>アドバイザーとして参加されている〇〇委員のほうから、全体を通して一言いただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>全体を通して感じたところを3点お話させてもらおうと、一つ目が、ある精神科の先生の勤め先の病院で、患者さんが自殺されたことがあると。その先生からのお話で、なるほどなと思ったのは、自殺予防には、観察と良質なコミュニケーションが一番ではないかということでした。つまり、いろいろな仕組みや約束事を病院の中でもたくさん決めていたり、事故防止のための手立てを取り組んではいるのだけれども、最終的には人が関わっていくことが大事だという趣旨のお話でした。ぜひ、いろいろな取り組みがあったとき、僕たち人がするときに、しっかり見て、しっかり本当に質の高いコミュニケーションを取っていくのがポイントであると思いました。</p> <p>ただ少しだけ残念だなと思ったのが、学校の通知の関係です。何か困ったら保健師さんへつながりだけでは少し足りないのではないかと。僕も昔、児童相談所にもいました。困った時に誰かに頼りたい。例えば、うつ病だったら病院に頼りたいとか、いろいろなところに頼りたいと関係機関も思うと思います。そうではなくて、皆で支えていくという気持ちで。例えばSOSも学校の先生がしっかり受けとめる。まず先生がしっかり受け止めなかったら、専門家が介入しても、薄っぺらな介入にしかならない。そういう意味では誰か頼める場所を探すという形の連携ではなくて、皆が本当に手を取り合っていくような連携が大事だと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。3点目を思い出したらまた後で教えていただければと思います。</p> <p>〇〇委員の話には非常に私も納得するところがあり、皆が関心を持ってきちんと相手を見ることとコミュニケーションを持つことが大事だと思います。このような会議を通じて、関係者のコミュニケーションを持つことも非常に大事なことだと思いました。</p> <p>他にご意見のある方がいないようであれば、私の方から振っていきます。</p>

委員	<p>まず、新潟県高等学校長協会の〇〇委員のほうから、SOSの出し方受けとめ方について、ご意見・補足がありましたらお願いしたいと思います。</p> <p>新潟県高等学校長協会、〇〇でございます。</p> <p>高等学校長協会と言いましても、我々が生徒に対して行う指導は、教育委員会からの指示等によるものであり、先ほど〇〇委員がおっしゃられたように、一番大事なのはコミュニケーションだと思います。我々がいかに生徒の様子を見るかだと思います。また、資料4に書かせていただきましたが、新潟県教育庁生徒指導課が、SOSの出し方教育について「新潟県自殺予防教育プログラム」を作成しております。これは県のホームページに載せてありますので、必要であればいつでもお取りいただけます。県立高校では、先生方が生徒の様子を注視することは大事ですけれども、他のところでもいろいろ取り組まれておりますが、SOSの出し方教育に力を入れているところです。すべての県立学校で必ず年1回は、生徒に対してSOSの出し方教育を行っています。先ほどご覧いただきましたプログラムの中に授業案があり、それを使って取り組んでいます。それからもう一つ、このプログラムの中には、先ほどのSOSの受け止め方の部分もあります。生徒同士で相談を受けたとき、相談を受けた側の生徒が悩みを抱え込んでしまっは大変なわけですから、そのような時にはどうしたら良いかを学ぶ授業案も含まれており、これを使って、SOSの出し方に続き、受け止め方を指導しています。</p> <p>今高校では、概ねこのような形で、自殺予防を進めているところです。</p>
会長	<p>例えば今の話に関連して、感染症対策でマスクをずっと付けている、もしくはオンラインが増えていることで、どちらかという生徒と先生の距離が離れていく方向で今社会全体が進んでいますが、その影響はありますでしょうか。</p>
委員	<p>マスクをしているのでなかなか表情が読み取りにくく、生徒の感情的なところが従来よりも受けとめにくいことはあるかと思いますが、その辺は我々の見方もあるかと思います。</p> <p>あとコロナ禍の中で、なかなか他の人と直接会うことがなかなかできないこともあるかと思うのですけれども、幸い本校ではいつも通り授業が行われています。昨年、一斉に臨時休校がかなり長期に渡って行われたことがございましたけれども、その時にはやはり少し不安定になった生徒もいたようですが、現在は通常通り行われている様子かなと私は感じているところです。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>やはりかなりの影響があったのではないかなと思って聞いていました。</p> <p>それでは、女のスペース長岡相談員の〇〇委員のほうから何かご意見はありますでしょうか。</p>

委員	<p>私たちの取り組みについてのお話しさせていただきますけれども、相談支援業務が主な活動になりますので、やはり相談者の方の話を丁寧に聞くことは、先ほどの良質なコミュニケーションという面においても、大事な点だとは感じていません。相談者の方から「死にたい」という言葉を聞いた際には、やはり1人で受けとめるということではなく、組織全体として受けとめて、チームとして丁寧な関わりをしていくことは心がけて取り組んでいる状況です。</p>
会長	<p>今話を伺って、コミュニケーションも大事ということもありますし、長岡市のほうから生活困窮者の方が追い詰められてきているという話もありました。職を失い、なかなか次の仕事が見つからない方は、もしかしたら多くなってきているのではないかと思います。実際に就職、仕事を探すところで、現場に立って相談を受けている方から話を聞いてみたいなと思いますけれども、そのあたり労働基準監督署の方から何かご意見があるようでしたら、お願いしたいと思います。</p>
委員	<p>労働基準監督署の副署長の〇〇と申します。</p> <p>監督署はどちらかというと労働相談を受け付けているのですが、事業主向けにいわゆる産業衛生の部分で、いろいろな指導をしています。労働者の方が労働相談という形で、例えば最近よくあるのは、体だったり心だったりの病で、仕事ができなくて休職状態だけれどもなかなか復帰できないとか、その中でだんだんうまく行かなくて、場合によっては「自殺したい」と言う方もいまして、若干最近増えてきているのかなと思います。</p> <p>労働相談の窓口ですので、そのような方々の対応に困るところがありますが、今日のような会議の連携の中でいろいろな相談窓口をまた紹介させてもらって、対応しているのが現状でございます。確かにメンタル的な不調の方の相談が、だんだん増えてきているなというのは労働相談の窓口でも感じるところでございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。大変参考になりました。</p> <p>続きまして、中越地域いのちとこころの支援センターで、いろいろな相談が、かなりたくさん集まっているのではないかと思いますけれども、ここ最近の傾向について何かご存知でしたら教えていただけたらと思います。</p>
委員	<p>中越地域いのちとこころの支援センターは、自殺予防専門の相談機関として、特に自殺ハイリスク者への相談支援を中心に実施しております。</p> <p>今年度と申しますか、令和3年4月1日から12月末までの相談状況を見てみますと、コロナ禍との関係は不明ですが、昨年度と比べて約1割強の相談が増えております。月平均106件ほどになります。男女比で申しますとほぼ同数ですが、特にその中で新規が今年度は146件ありまして、男性が71名、女性が75名、ほぼ同数ですが、年代で申しますと50代が一番多いです。その次が20代というふうに多</p>



<p>会長</p>	<p>くなっております。実は当センターの相談者では70歳以上が非常に少ない傾向ですけれども、これについてはインターネットに馴染みがない世代、電話相談ですとか、そのようなところが一つポイントで低くなっているのではないかと考えております。</p> <p>それから、本県は高齢者の自殺が多いです。そこで感じるのは、新潟県民の特性ともいえる部分かもしれませんが、高齢でいろいろな病気や障害が多くなって、いわゆる生きる阻害要因が増えてくる中で、一番の阻害要因というのは、同居する家族とか、自分に介護するような人への気兼ねといいますか、人の世話になりたくない、家族の負担になりたくないという思いを多く持つてしまうところがあるように思われています。</p> <p>私たちは1人のケースでも予防していこうと、1人の予防ができれば、それに影響を受けるであろう数例を予防できるだろうという考え方で、自分たちだけではなく、関係する機関とこれからも連携を取って支援をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。今話を聞いて、同居の方が自殺する的多いというのは、おかしいなと思っはいたのですけれども、逆に同居する方がいるほうが気兼ねをしてしまって自殺を選ぶという選択をされる方が多いのかというふうに話を聞いてなるほどなと思いました。</p> <p>〇〇委員、三番目のご意見をお願いできますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>SOSの出し方教育に付随してですけども、レジリエンスという少し難しい言葉があるのですが、要はしなやかさというか、復元力というか、打たれた時に、いろいろなピンチの時に、ちょっと頑張ろうという気持ち呼び起こそうみたいなことについて、SOS教育だけではなくて、レジリエンスに関する教育もこれから流行ってくるのかなと。もちろんSOSの出し方も大事だし、先ほども申しましたが、「困った」と言うことは大事ですけど、それプラス、ちゃんと受け止めて、次のステップにつなげる力をつけることも大事だと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。大変参考になります。</p> <p>例えば大学の場合は就職される学生たちに対して、何かメンタルヘルス、仕事で困った時はこういうふうにしたほうがいいのか、そのような指導・授業はあるのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>私は就職課の担当教員でもあって、就職活動を一生懸命頑張ろうということを見せてもらっています。学生相談で日常のいろいろな話も聞きながら、今は3年生の就職活動が本当に始まっているところですけども、基本、事務スタッフに3年生全員を面接させています。要は、学生全員に必ず、今はZoomでちゃんと会って、顔を合わせて、「就職活動をどういうふうに進んでいるの」とインタビ</p>

	<p>ューし、どのような方面に進みたいのか、それを入口にして、うまくいく学生は1回で終わりですが、なかなかうまくいかない学生は顔がつながっていると、次に声をかけやすくなったり、困ったときにつながるきっかけづくりを仕組みとし取り組んでいます。ただ、これはあくまでも自殺予防ではなくて、おかげさまで結構就職率がよいのですけれど、職員と、スタッフと学生がつながるところをメインに取り組んでおります。</p>
<p>会長</p>	<p>経済的に安定することが自殺対策で非常に大事だと私は思っていますので、ぜひ頑張ってくださいなと思います。</p> <p>女性の非正規雇用の問題も出てきてるのではないかと。自殺者が増えてきているという話もありました。人権・男女共同参画課から何かそのあたりで情報がありましたら教えていただけたらと思います。</p> <p>自殺者には明確な男女差があります。特に女性の非正規雇用者自殺者が多かったですけれども、長岡市で男女の違いについて、また今後の対策があるようでしたら、ぜひご意見のほうをお願いしたいと思います。</p>
<p>人権・男女共同参画課長</p>	<p>今お話がありましたように、女性のほうが非正規雇用の割合が高いというのは、現状ございます。特にコロナ禍においてその影響は大きく出ていると思われれます。こちら相談窓口を運営しておりますので、そのあたりは気をつけながら相談対応しております。</p> <p>また市の取り組みとしましては、今年度から新型コロナウイルスの影響を受けている女性の支援ということで、相談対応・居場所づくりなどを開始したところで、また一つ相談窓口が増えて相談しやすい体制を進めているところです。今後もこのような取り組みを複数進めていきながらしっかり対応して参りたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご質問、ご意見がある方はいらっしゃいますか。</p>
<p>委員</p>	<p>一つ情報提供で、生活困窮絡みですけれども、社会福祉協議会の方から特例貸付のお話がありまして、個人の生活困窮の方は特例貸付でつながる方はだいぶ助かっている方が多かったと思いますが、その制度自体を知らなくて、つなげられなかった方は結構いらっしゃいます。また、特例貸付と言いながら、実質、返済猶予も結構ある手続きと聞いていますので、もう手続き終わる間際かもしれませんが、コロナと関係なく生活困窮状態で、車検を通せないとか、家賃が溜まっているとか、そのような方ももしかしたら助けてもらえるのかもしれない。もう一つ問題なのが、個人事業主とか、会社の経営者ですけれども、今まで貸付の返済が止まっていたのですが、いよいよこれから返済が始まります。コロナ禍でありながら、昨年の破産件数はすごく少なかったのです。ただいよいよ返済が始まると、経営者側の置かれる立場が厳しくなってくるのではないかと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>で、そちらを少し注意された方がいいかもしれないなと思いました。</p> <p>ありがとうございました。特例貸付について、私はあまり詳しくないですが、具体的に返済の規模とか猶予とかはどのような感じでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>社会福祉協議会の〇〇です。</p> <p>原則、貸付が始まって1年後から貸付返済が始まるということになっていたのですが、今、償還の開始月もどんどん遅くなって期間が延びておりまして、令和5年1月に初回の返済が始まるというふうに、今は聞いております。</p>
<p>会長</p>	<p>他に何か情報提供あるいはご意見・ご質問のある方は、いらっしゃいますか。</p> <p>(意見・質問なし)</p> <p>新型コロナ感染が非常に拡大中ですので、特にご質問がないようでしたら少し短めですが、これで質疑応答、意見交換を終わりにしたいと思います。</p> <p>以上で議題の方は終了となりますので、ここからは事務局に進行をお願いしたいと思います。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。事務局から2点連絡いたします。</p> <p>1点目、自殺対策計画は5年ごとに見直しがあり、国のスケジュールは令和3年度中に自殺総合対策の推進に関する有識者会議を6回程度開催して取りまとめ、令和4年5～6月ごろにパブリックコメント、夏ごろを目途に自殺総合対策大綱の閣議決定がなされる予定です。決定された大綱に基づき、長岡市も計画見直しを行います。来年度は、見直しに関わる協議、作業が出てまいりますので、引き続き委員の皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。</p> <p>2点目です。本日の会議の議事録につきましては、後日、皆様の所に送付させていただきます。以上です。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、福祉保健部長がご挨拶申し上げます。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>皆様、本日はお忙しい中、リモート含め会議にご出席いただきまして、また活発にご発言いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>先ほどの説明でもありましたように、長岡市におきましても、女性を中心に自殺者が増加傾向となっております。コロナ禍ということで、依然先行きが不透明で、不安感も増してきておりますし、コロナがこの先たとえ収束しても、むしろ収束した後の方が心配という声もあるようです。自殺対策というのはこういうことをやれば確実に減るというものではなくて、いろいろな要因が絡んでいきますので、どこを見て取り組んでいけばいいのか、なかなかわからず非常に難しいところがありますので、対策といたしましては、関連する多様な分野の関係者の皆様</p>

事務局	<p>や組織とのコミュニケーションを図りながら、各施策の関連性を高めて、自殺防止の取り組みを進めていく必要があると思っています。</p> <p>本日のように、関係者一丸となって、一体となった取り組みを期待したいところでございます。今後ともよろしくご協力をお願い申し上げ、閉会の挨拶といたします。本日は誠にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和3年度長岡市自殺対策協議会を終了いたします。大変ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">了</p>
9 会議資料	<p>(1) 【資料1】長岡市の自殺の現状について</p> <p>(2) 【資料2】長岡市自殺対策計画 進捗状況報告書（冊子）</p> <p>(3) 【資料3】「SOSの出し方に関する教育」実施報告</p> <p>(4) 【資料4】意見・取組一覧</p>